

5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 (東海)	良くなる	旅行代理店（従業員）	・9月の大型連休の旅行申込が好調である。国内旅行は前年比で3倍、海外旅行も2倍となっている。最大5連休ということもあり、北海道や沖縄といった2～3泊の旅行先に人気集中している。海外でも韓国、中国、タイは政情不安により減少しているが、台湾、シンガポール、グアム、ハワイは倍増している。10～11月にも3連休があるため、しばらくは好調が続くと見込まれる。
	やや良くなる	商店街（代表者） 商店街（代表者） 商店街（代表者） 商店街（代表者） 一般小売店〔土産〕（経営者） 百貨店（経理担当） 百貨店（販売促進担当） スーパー（店長） スーパー（店員） スーパー（総務担当） スーパー（販売担当） 乗用車販売店（従業員） 乗用車販売店（従業員） 住関連専門店（営業担当） スナック（経営者） 都市型ホテル（経理担当） 旅行代理店（経営者） タクシー運転手 通信会社（営業担当） テーマパーク（職員） 美容室（経営者） その他サービス〔介護サービス〕（職員） その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（経営者）	・新規出店の要請がある。 ・販売場所によっては販売量が伸びており、購買意欲等もみられ、景気が良くなっていると感じる。 ・8月が悪すぎたため、それに比べれば先行きは良くなる。これ以上悪くなったら、廃業も考えなくてはならない状況である。 ・涼しくなってくると、客にも動きが出てくる。 ・伊勢志摩サミットに向けて、景気がだんだん良くなる。 ・全体の数字は前年並であるが、不調が続くヤング衣料以外では、復調の兆しがある。 ・中国経済の減速は、差し当たりインバウンドの購買行動には影響しないと見込んでいる。 ・売場では、客が価格を気にしないで買物をしている様子が感じられる。 ・果物や野菜の価格が安定しており、天候の作物への影響もなさそうであり、サンマ、梨、栗等、秋の味覚がこれから店頭に並べば、一段と売上増加が期待できる。 ・来客数が前年同期比で約1.5%増えている。 ・これから寒くなると、鍋物等の冬物商材が売れはじめる。 ・引き合い等、先につながる話もあり良くなる。 ・新車効果もあり、大幅ではないが販売台数も前年並みに回復してきており、ここ2～3か月は、販売台数が増加する。 ・消費税増税前の受注・引き合いが入り始めている。建築単価が上がり始めており、新築、リフォームや大規模改修等の引き合いが多くなっている。ただし、公共工事は横ばいである。 ・猛暑の時期や夏休みも過ぎ、多少は良くなると期待をしている。 ・宿泊客数が増えている。 ・秋に向けての予約が入ってきているので、良くなると思われる。 ・気候も良くなり、人出が増えるシーズンに入る。 ・設備投資の件数は、今後も増加を見込む。 ・9月の大型連休で、客足はやや伸びると思われる。 ・10～11月は行楽シーズンで気候も良く、客足の伸びを見込む。 ・介護事業に対する補助金は減額が頭打ちであるが、新規事業の拡充や専門性を深めて地域に貢献することで、事業の必要性が増してゆく。 ・お盆も終わり、少しずつ良くなると期待する。プレミアム付商品券は、完売した市町村がほとんどで、商品券がすべて使われれば景気も上向く。
	変わらない	一般小売店〔結納品〕（経営者） 一般小売店〔生花〕（経営者） 一般小売店〔酒類〕（経営者） 一般小売店〔薬局〕（経営者） 一般小売店〔自然食品〕（経営者） 一般小売店〔贈答品〕（経営者）	・小売店を取り巻く現状をみていると、今のままの状況が続く。 ・景気は低迷しており、しばらくはこの状態が続くと思われる。 ・飲食店への来客数がまだ回復していないので、厳しい状況が続く。 ・夏休みから秋にかけて旅行等への支出が多くなる。日々の食品等は仕方ないが、すぐには必要としない買物は後回しとなり、身の回りの景気は上向かない。株式市場が極端に下落すれば、景気が更に落ち込む恐れがある。 ・何かきっかけがないと販売量が回復することは難しい。客には様子見の傾向があるので、このまま推移する。 ・来客数は減少する。しかし、一部の好調な客によって売上が支えられている。

一般小売店〔書店〕 (経営者)	・少しずつ客足は伸びているが、波がある。残暑が厳しければ、暑い時期向けの商品が売れ続けると期待できるが、天候不順になると、どうなるかわからない。
一般小売店〔果物〕 (店員)	・現状の販売動向から、3か月ほどでは変化はない。
一般小売店〔和菓子〕 (企画担当)	・株価が大きく下落しているが、徐々に回復し、基本的には現状と変わりないと思う。しかし、今は不確定な要因が多すぎる。
百貨店(売場主任)	・駅前に店があるので、平日でも来客数は多い。クリアランスセールが終わって少し落ち着いているが、下見客はそこそこあり、問い合わせも多い。すぐには売上にはつながらないが、少し長い目でみていく必要がある。
百貨店(売場主任)	・インバウンドは好調だが、国内消費は変わらない。相変わらず、客の購買意欲は低く、このまま秋以降も変化がないと見込まれる。
百貨店(企画担当)	・前月後半から今月前半にかけては、気温も高く夏物衣料や雑貨等を中心に活発な動きを見せたが、お盆休みを境に失速している。中国経済の減速に端を発した株価の下落や円高等で、消費者の購買意欲はやや減退気味である。これらの経済的な混乱が収束するまでは、景気が上向きになるとは考えられない。
百貨店(経理担当)	・景気は緩やかな右肩上がりの改善を続けてきたが、中国経済に減速の兆しがみられ、しばらくは踊り場的な状況になる。
百貨店(経理担当)	・株価が不安定に推移しているため、先行きが不透明である。
百貨店(経営企画担当)	・高額品やインバウンド関連は、引き続き好調を維持すると思われるが、百貨店の主力商品である衣料品の動きがまだ精彩を欠いており、一進一退の状況と想定している。
百貨店(販売担当)	・プレミアム付商品券等のテコ入れ策による、一時的な消費喚起はあるが、中国経済等の外部要因にも対応できる実効性のある地域振興策が求められる。現在の、株価や円相場に依存した企業業績からのトリクルダウンに頼る状況では、家計を預かる主婦の心理的な変化や購買意欲の向上は望めない。
百貨店(販売担当)	・ギフト需要が高まり、販売量は増加する。ただし、低価格帯の商品が主力で、単価上昇は厳しい状況が続くと見込まれる。
百貨店(販売担当)	・夏休み期間は、見ているだけという様子の客が前年よりも多かったように感じる。
スーパー(経営者)	・猛暑の次は日照不足で青果の価格が安定せず、収益増加が期待できない。
スーパー(店長)	・商品の値上げはこれからも続くため、現状よりも景気が良くなる要因は見当たらない。
スーパー(店長)	・この先も商品値上げの話があり、不透明な部分が多い。消費者は、行事や催事には金を使うが、それ以外では支出を非常に引き締めているため、消費が大きく伸びることはない。今後の世の中の動きによっては、大きく変化する。
スーパー(店員)	・現状から特に変わらない見通しである。
スーパー(販売促進担当)	・品質の良い物を勧めることで売上増加を目指しているが、買上点数が伸びない。相変わらず客の財布のひもは固い。
スーパー(商品開発担当)	・来客数は前年並みと見込むが、現状の客単価、1品当たり単価の動きと景気全体の状況を考慮すると、さほど現状とは変わらない。クリスマスや年末商戦等、売上拡大のチャンスは大きくなる。
コンビニ(エリア担当)	・販売施策やオリジナル商品等による来客数の増加は望めるが、客単価や購入点数の改善ができるか不透明である。
コンビニ(エリア担当)	・プラス材料が見当たらない。
コンビニ(エリア担当)	・当面は今月と変わらない状況が続くと思われる。
コンビニ(店長)	・国内外の要因から考えて、現況以上に良くなることはなく、変わらずに推移する。
衣料品専門店(販売企画担当)	・暑さで夏物の動きが良かったと言われているが、その感覚はほとんどなく、秋以降も、それほど天候にも左右されず推移すると思われる。
衣料品専門店〔紳士服洋品〕(売場担当)	・3月は前年同月の反動が大きかったが、それ以降は、ほぼ前年並みか3ポイント程度上回る状況が続いている。今後も大きな変化はないと思われる。
家電量販店(店員)	・白物家電は良くなっているが、その分テレビやパソコンが不調となっている。

	乗用車販売店（経営者）	・来月の新型車種の発表まで、足元の状況が続くものと思われる。
	乗用車販売店（経営者）	・ここ数か月の変化のなさを考えると、今後もこのまま推移していくと思われる。
	乗用車販売店（経営者）	・先行きが良くなる要素は見受けられない。
	乗用車販売店（従業員）	・10月にモーターショーが開催されるため、需要喚起や雰囲気盛り上げを期待はするが、それほど大きな効果も見込みにくい。
	乗用車販売店（従業員）	・明るい材料は乏しいが、ここへ来て工場への在庫数が増えてきており、他部門の落ち込みをカバーしている。ただし、それだけでは支えきれないので、厳しい状況のまま続くと思われる。
	乗用車販売店（総務担当）	・先行きも、特に良くなる要因がない。
	乗用車販売店（経理担当）	・月次ベースでは相変わらず前年実績を上回ることがなく、先行きも厳しい。
	その他専門店〔雑貨〕（店員）	・夏休みと同じように、9月にも大型連休がある。
	その他専門店〔書籍〕（店員）	・これからは、ハロウィンやクリスマス関連商品が少しずつ動き始め、来年の手帳やカレンダーも並ぶので、売上も多少は増加するが、12月まではあまり大きくは変わらない。
	観光型ホテル（経営者）	・2～3か月先の予約は前年比10%程度のマイナスで推移し、現状と変わらない。前年と比べても、良くも悪くもないという見通しである。特に当地への集客につながる話題もなく、可処分所得の伸び悩みも影響している。
	都市型ホテル（従業員）	・予約数から、先行きも変わらない。
	都市型ホテル（支配人）	・国内企業からの宴席の予約は、あまり動きが良くない。
	旅行代理店（経営者）	・この先3か月では、良くなる要素も悪くなる要素もないので、変わらないと見込まれる。
	旅行代理店（経営者）	・大手自動車会社では原価低減要請が再開され、今後じわじわと影響が出る。中国経済の先行きや様々な海外要因が当地域の輸出産業に波及してくるので、予断を許さない。
	旅行代理店（経営者）	・プレミアム付商品券も既に使い切った感があり、景気を刺激する要因が見つからない。中国経済の動きも、我が国の景気に微妙な影を落とす可能性がある。
	旅行代理店（経営者）	・景気が良い客層と、先行き不安の客層があるので、旅行単価の見通しが難しい。高齢化の進展で、家族に病人を抱える場合も増えてきているので、独身者の方がどこに行くのでも動きやすく、消費をしやすい傾向にあると感じる。
	タクシー運転手	・長く繁華街で仕事をしているが、人出の少ない状況がずっと続いている。この状況がすぐには変わるとは思えない。
	通信会社（サービス担当）	・Wi-Fi環境の拡大により、家庭でのネット利用もWi-Fiに切替える人が増えているため、光回線の廃止が今後増える。
	通信会社（営業担当）	・年末や年度末を迎える頃には、変化が表れてくるとと思われる。
	観光名所（案内係）	・富士山への観光客が減少し続けている。
	ゴルフ場（企画担当）	・10～11月はゴルフに最も良いシーズンである。入場者数は多いが、日が短く営業時間が少なくなるため伸びる余地が少なく、あまり変動はないと考える。
	美容室（経営者）	・新聞等の情報をもても明るい話題がないので、当分は今のよう状況が続く。
	その他サービス〔介護サービス〕（職員）	・しばらくは介護保険制度改正の影響を様子見の状態である。
	設計事務所（経営者）	・案件数には大きな変化はない。ただし、相変わらず小規模な案件が大多数を占めている。
	住宅販売会社（従業員）	・販売量の動きには、大きな変化はみられない。
	その他住宅〔室内装飾業〕（経営者）	・新築物件の受注がほとんどない状況が続いている。
やや悪くなる	商店街（代表者）	・8月の繁忙期の売れ筋商品が、低単価傾向であったので、先行きには不安が大きい。
	商店街（代表者）	・相変わらず、客は必要な物以外は購入しない。領収書を発行する、会社関係の販売量、売上高が伸びない。
	商店街（代表者）	・家電製品の買換えサイクルが長くなっている。省エネ機能等、新製品のメリットを説明はするが、壊れるまで買換えないスタンスの客が多くなっているように感じる。

一般小売店〔高級精肉〕（企画担当）	・ギフト商戦は、社会全体の景況感が売上に影響する。
一般小売店〔土産〕（経営者）	・遷宮が終わって以降、目に見えて来客数が減っているが、今後もしばらくはこの傾向が続くと見込む。
百貨店（販売担当）	・中間層の消費を回復させる劇的な要因に乏しいなかで、中国経済の減速により、現在は好調な富裕層やインバウンド消費の先行きにも不透明感がある。
スーパー（経営者）	・原油価格の低下はまだ続き、経済はデフレ傾向に引っ張られ、景気は良くない。国内の消費は伸びず、米国を除き中国やアジア、欧州も不況気味で、輸出が伸びない。国内では、安全保障の国会論議が長引き、経済に問題が起きているのに議論がされず、対策が1歩も2歩も遅れており、景気にはマイナスの影響も出る。先行きには期待できず、本当に難しい局面となっている。
スーパー（支店長）	・中国経済の減速に伴う株価下落や先行きへの不安が影響し、消費が鈍化すると思われる。
スーパー（販売担当）	・来客数が少なくなる。
スーパー（営業企画）	・景気の先行きに不透明感が増しており、より消極的な消費傾向が強まるとと思われる。
コンビニ（企画担当）	・インバウンドや東京オリンピックに期待するが、中国の景気減速と株価下落の影響が懸念される。
コンビニ（店長）	・中国の経済情勢によっては、日本の消費にも影響が出そうである。
コンビニ（店長）	・野菜等の食品価格が上昇しており、節約志向が強まっている。
コンビニ（商品開発担当）	・中国経済の減速による冷え込みが予想される。
衣料品専門店（経営者）	・なじみ客が入院したり、引っ越し等、先行きの見通しは暗い。
家電量販店（店員）	・気温の影響で8月は良かったものの、今後好調が続く要因が見受けられないことから、悪くなる傾向と思われる。
乗用車販売店（営業担当）	・足元で世界的な株価安が起きているので、先行きの消費にも影響が出てくるとと思われる。
乗用車販売店（従業員）	・新車販売は、新型車種の投入にもかかわらず受注総数が前年実績より減少している。客が更に次の新型車種を気にしている様子もうかがえるが、実際の登録台数に結び付く割合は低いと思われるので、厳しい状況が続くと考える。
乗用車販売店（販売担当）	・輸入車両の販売代金が、円安の影響で10万円前後上がる見込みである。
その他専門店〔貴金属〕（営業担当）	・株価の影響や金相場の変動で、先行きが見通しづらい。
高級レストラン（役員）	・法人、個人共に、レストランの利用は株式市況の影響を受ける部分が大いいため、足元の株価下落はマイナス要素になると懸念する。
一般レストラン（経営者）	・政治に対する不安感等もあり、良くなる要因が見つからない。
その他飲食〔仕出し〕（経営者）	・株価上昇の時に好景気なのは一部の人でも、下降すると社会全体に影響して雰囲気が悪くなり、不況モードに入る。
観光型ホテル（販売担当）	・予約状況から宿泊客は引き続き計画通りに見込めるが、一般宴会等が、前年同期比で20%強のダウンで推移しており、悪い方向に向かっている。
都市型ホテル（経営者）	・予約客が不安定であるため、業績が良くなるとは思えない。
旅行代理店（従業員）	・世界同時株安で、今まで株で儲けていた人に余裕がなくなる。それが、レジャー等の支出に反映して、旅行業界の景気は悪くなる。
タクシー運転手	・夏休み等で人の動きが多く忙しかったが、2～3か月後は、今よりは人の動きが少なくなる。
通信会社（企画担当）	・安保法案、国立競技場の問題や不安定な中国の経済情勢等、暗いニュースが多く社会全体の雰囲気も悪くなってきているように感じる。
パチンコ店（経営者）	・前年の消費税増税の影響で来客数が減って以来、業界全体で薄利多売の傾向が続いている。
理美容室（経営者）	・客の話では、だんだん小遣いも減らされ、散髪の間隔も長くなっていくとのことである。
美顔美容室（経営者）	・8～9月にホームケア用品の購入が集中するため、反動で販売状況はやや悪くなる。

		設計事務所（職員）	・この業界は、景気の波が一番遅く、また、自社の業況のみが上向くことはない。バブルの時に大きな人数を抱えた事業者は苦勞をしており、この10年でも、様々な同業者やゼネコンが廃業している。他社が廃業した分、残ったところは忙しいが、そういった形での幸せは良くない。
		設計事務所（職員）	・国の動きでは、安保法案や国立競技場等の話題はよく耳にするが、景気対策に関する政策については、あまり話を聞かえてこない。
		住宅販売会社（経営者）	・所得が現実的には増えていないため、購入に踏み切れない客が多い。
		住宅販売会社（従業員）	・年度上半期の締めを迎えることで、9月にはいったん落ち着き、それ以降は落ち込んでいくと思われる。
		その他住宅〔住宅管理〕（経営者）	・8月後半以降は管理業務の売上が伸びず、それ以外の公共・民間工事も、引き合いはあるが受注量は減少しており、厳しい状況が続いている。
	悪くなる	乗用車販売店（従業員）	・テロや中学生の痛ましい事件等、世の中に悪いニュースが蔓延するなかで、中国経済も様子が変わってきている。中国経済の減速が強まれば、世界的に影響が広がり景気が悪くなる。
		その他専門店〔雑貨〕（店員）	・中国経済への不安が払しょくされず、消費マインドは冷え込む。
		その他レジャー〔スポーツレジャー紙〕（広告担当）	・中国の株価下落による世界同時株安の影響が懸念される。
		理容室（経営者）	・周囲では、景気が良くなるようなムードが感じられない。
		美容室（経営者）	・新聞に当市は過去最低の経済状況であると掲載され、先行きが不安である。
		住宅販売会社（従業員）	・取引先の材木問屋や大工等の仕事量が減ってきている。同業者では倒産するところも出ているので、今後は厳しくなってくる。
企業動向関連 (東海)	良くなる やや良くなる	-	-
		パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	・例年は秋の特需があり、受注、販売共に活発になる。今年も秋からの景気は良くなる。
		化学工業（営業）	・樹脂原料となるナフサの価格低下で、製品原価が下がり、収益性が良くなる。9月は、現時点での受注状況から今月よりも大幅に売上が伸びる見込みである。
		輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	・しばらくは設備投資が続く。
		輸送業（エリア担当）	・ネット市場を中心に、荷物は順調に増加している。
		企業広告制作業（経営者）	・東京オリンピックに向けての特需がしばらく続く。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	・下半期に向けて案件の動きも活発で、当面は良さそうな状況である。
		その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	・原油価格が1パーレル当たり40ドルに下がり、株価は乱降下をしている。また、中国経済減速の影響が各所に表れている。取引先でも、中国から引上げて国内生産にシフトする企業がある。中国経済の変調は間違いなく、円高が進展しなければ、この流れは変わらない。
	変わらない	食料品製造業（営業担当）	・周囲の企業では大幅なコストカットの声が上がっている。個人の収入への影響が大きいですが、企業業績は、それによって持ち直すものと見込まれる。
		食料品製造業（経営企画担当）	・景気が良くなる期待は大きいですが、消費が上向いているという実感は乏しい。一方で、訪日旅行者の存在感はますます大きくなり、インバウンド需要だけは活発に感じる。
		出版・印刷・同関連産業（代表）	・景気は上下するが、ならしてみれば変わらない状態と思われる。
		化学工業（総務秘書）	・先行きは見通しづらいが、中国経済等の外的要因で大きな問題が起きなければ、大きな波は起きず穏やかな好況感が持続すると思われる。
		窯業・土石製品製造業（社員）	・新規受注品が増えつつあるが、大口の客先で既存製品を失注したため、3か月先の次回入札後まで生産がストップする。全体としては横ばいである。
		金属製品製造業（経営者）	・引き合い件数も多くはなく、現状と変わらないと考える。
		一般機械器具製造業（営業担当）	・スマートフォン向け設備の受注に勢いはないが、前年実績を大幅に下回ることもなく、そこそこの受注は確保している。また、他分野での設備投資計画もある。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・受注量、販売量共に安定している。

電気機械器具製造業 (企画担当)	・中国経済に端を発する株価変動もあり、先行きに不安を感じるものの、足元の売上は堅調なため、当面は今の状況が続くと考えられる。	
輸送用機械器具製造業 (経理担当)	・予想外の出来事が起きない限り、来月以降も一定の生産・販売量が見込まれている。	
建設業(営業担当)	・建築関係に活気がないと仕事が回ってこない。公共部門では、4月の入札以降、工事の発注がみられない。	
輸送業(従業員)	・中国の経済動向や株価下落等の影響で、国内の個人消費は伸びる要素はなく、荷動きは低調なまま推移する。ガソリン等石油製品の価格低下が唯一の救いである。円高が大きく進むと、自動車関連の輸出が減少する等、景気を押し下げる影響もあり先を見通すことは難しい。	
輸送業(エリア担当)	・先行きの荷動きは、為替相場や株価の状況による。	
輸送業(エリア担当)	・燃料の軽油価格が、前年比で1リットル当たり約34銭安くなっており、非常に助かっている。貨物の荷動きは、今一つ緩慢である。	
輸送業(エリア担当)	・8月に入って軽油価格が毎週下落しており、この傾向がまだ続くと思われる。原油相場や株価の下落等もあり、先行きが見通せない状態から円高傾向になってくる。今の流れでは、今後も景気回復の見通しは立たないと思う。	
通信会社(法人営業担当)	・中国経済の動き、株価の上下動や円高等、生活者には景気が良いという感覚はなく、実質賃金が明らかに増えたり年金支給額が増えるといった目に見える変化が期待できないと、心理的には一層冷え込む。一方で、海外投資等の利益が増えていることは、原料の輸入・加工による今までの貿易とは違った形で、好影響をもたらすと思われる。	
金融業(従業員)	・生産機能は、海外にシフトしている。大手企業は良いかもしれないが、中小企業への影響は避けられず、利益が確保できない。生産量も増えないなかで、多少忙しくなっても利益には結び付かず、厳しい状況が続いている。	
金融業(法人営業担当)	・株価低迷等、世界経済の先行きへの不安で、取引先企業は設備投資に慎重になっている。	
金融業(企画担当)	・米国の各種指数や日本企業の業績は堅調であるため、足元の株価安や円高は一時的で、景気は変わらないと思われる。	
不動産業(経営者)	・最近の株価の急激な下落で、先行きは不安定な状況である。	
広告代理店(制作担当)	・秋の商戦に向けての企画案があまり具体化せず、しばらくは今のままの状態が続くそうである。	
新聞販売店[広告](店主)	・折り込み広告等の受注に影響するような要因がない。	
行政書士	・物流業界では、給与水準と比較して拘束時間が長いと、運転手が集まらない。	
公認会計士	・電力料金は高いが、電力会社の経営努力は十分と思えない。また、中小企業に対する政府の具体的な支援政策が見えない。景気回復は、短期的に実現できる問題ではない。	
会計事務所(社会保険労務士)	・年金生活が始まる層では、生活レベルを急激に下げることがないが、少しずつ支出を減らす。旅行や趣味に金をかける代わりに、日々の暮らしでは節約をする。	
やや悪くなる	化学工業(人事担当)	・中国経済の減速の影響が大きく、世界的に不安定な状況がしばらく続き、我が国の景気もしばらく低迷すると思われる。
鉄鋼業(経営者)	・各国の株価下落や中国経済の減速等で、海外から鋼材が流入しており、国内製品の単価も下落傾向が強まっている。国内製品よりも5~10%安い鋼材が流入しているという声もある。	
電気機械器具製造業(営業担当)	・円高傾向が続けば、売上への影響が懸念される。	
電気機械器具製造業(経営者)	・年末にかけて、例年ならば客先での設備投資が盛んになるが、今年は、業界への規制も含め不透明なところがある。業界での投資が減少するなかで、当社の売上も減少してくる。	
電気機械器具製造業(経営者)	・当社製品が輸出商品に使われるためか、ここに来て客からの発注が激減している。9~10月の内示では、今月より2~3割少ない発注量となっている。	
輸送用機械器具製造業(経営企画担当)	・中国経済の減速が鮮明になると、日本へ波及する恐れがある。	
輸送用機械器具製造業(総務経理担当)	・為替相場が円高方向に動いてきている。中国の景気が下方に向かうと、我が国の景気も悪くなる。	
建設業(経営者)	・同業者間でいつも言われているが、建設業界でも業種によって極端に業況の差があり、一向に改善しない。最近の中国経済の減速傾向も、今後大きな影響があると思われる。	

		輸送業（経営者）	・アジア全体での経済減速の懸念から、在庫を減らす話も出ており、荷動きは一層悪化するとと思われる。
		不動産業（用地仕入）	・中国経済の動向が懸念される。
		会計事務所（職員）	・世界経済の動向が不透明で、特に中国経済の動きには不安感がある。株価の大幅下落や円高懸念も不安材料となっている。
	悪くなる		
	良くなる		
雇用 関連 (東海)	やや良くなる	人材派遣会社（社員）	・改正労働者派遣法が成立すれば、派遣人材の活用が若干拡大すると思われる。
		人材派遣会社（営業担当）	・下期に向けて、求人数の増加を見込んでいる。
		人材派遣会社（支店長）	・求人数は、2013年9月以降、緩やかな右肩上がりの状況が続いている。県内企業の雇用意欲は引き続き高く、求人数も堅調に推移していることから、景気は回復傾向にあると考える。
		アウトソーシング企業（エリア担当）	・自動車製造においては、新型車種の販売を控え、海外向けの輸出も上向きに推移すると見込まれる。
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・夏休みから9月の大型連休へと続き、人や金が動く時期であると期待を持っている。プレミアム付商品券は、各地で一部の人が手に入らず問題となっているが、おそらく景気の動きには大きな影響はなく、国は、更に消費をしやすい環境の整備が必要である。
		職業安定所（職員）	・介護・看護、建設、サービス関係で人手不足感があり、雇用情勢は改善傾向が続くものと思われる。
		民間職業紹介機関（営業担当）	・周辺企業の動向等からは、積極的に販路拡大を目指す動きがみえる。そのため景気的好転が期待できる。
		民間職業紹介機関（支社長）	・求人意欲は相変わらず活発である。
		その他雇用〔広告代理店〕（求人広告担当）	・もうそろそろ良くなしないと、本当に不安になる。
		変わらない	
人材派遣会社（社員）	・再就職者の転職活動期間が短くなる傾向がある。		
人材派遣会社（社員）	・9月の予約状況はあまり良くないが、2～3か月先は繁盛期に入るので期待をする。		
人材派遣会社（営業担当）	・引き合いは持続的に発生しており、先行きも現状維持が見込める。		
職業安定所（所長）	・窓口対応では、当地域の景気は現状が天井で頭打ちとなり、徐々に横ばいになると感じる。求職者からは現在の職場で引きとめられるといった相談が多くなっている。		
職業安定所（職員）	・新規求人は増加し、職種によっては人手不足が生じているが、販売やサービスの仕事に偏っているため、正社員としての登用がなかなか進まず内容の面で課題がある。		
職業安定所（職員）	・中国経済の影響が、国内の生産や消費にも徐々に始まる。		
職業安定所（職員）	・プラス要因は、大手を中心に業績は好調である。多くを占める中小企業では引き続き経営が厳しい状態ではあるものの、業務見直し等の工夫で生産効率を上げている事業所もある。マイナス要因は、企業ではリストラが続いている。収益率を高めるために、伸びきった枝葉を切捨てて幹となる業務に集約している事業所もある。中国経済の減速も、現在は影響がみられないが気になる要因である。求人数は増加傾向にあるものの、伸び率をみると正社員よりもパートでの求人が目立っている。		
職業安定所（職員）	・求人数は前年同期比でやや減少しているが、求職者もそれ以上に減少している。		
職業安定所（職員）	・新規求人の内容からは、特定の職種で賃金が上がっているといった傾向はみられない。どの業種も月によって上昇降下を繰り返しており、求人申し込み事業所も、適切な賃金がどのくらいか手探りの状況である。		
民間職業紹介機関（営業担当）	・これからは賞与支給後に転職を希望する人が徐々に動き始める時期である。一部で企業の求める人材ニーズと転職希望者の経験値とのかい離がみられる。		
学校〔専門学校〕（就職担当）	・インターンシップを受入れる企業も参加する学生も、前年同期比で増加しており、就職活動期間の変更後も、企業の雇用意欲は変わらないと感じている。		
やや悪くなる	人材派遣会社（営業担当）		
悪くなる			